

△日伊新協定成立説

一月十七日「にゆーす・くろにくる」は日伊三國同盟問題に關し、伊國に於て英伊會談か、何等成果を齎さざるべきを見越し、獨逸側とも聯絡の上「ちえんばれん」首相訪伊の兩三日、前、「ちあの」松より白鳥大使に對し、本月末迄一切の手續を完了し、新協定を公表し度しと申入れた、日本側は之を受諾せるも、目下英米より巨額の軍需品を輸入し居る状態なるに鑑み、協定の對象を單に蘇聯に局限せんと主張するに反し、英米「ぶろつく」の擡頭を快しとせざる「むそり」に「首相は、遽に日本側の提議に贊成せず、現在此の點交渉中であるか、結局伊國側の希望通りに纏まるものと推測せらる」との趣旨を報道した。

獨逸

△獨の防共工作と「うくらいな」進出

一月十七日「たいむす」は、獨逸の東方進出の企圖に關し、十六日柏林發通信として、防共協定新加入國たる洪牙利外相は目下訪

△英の東洋進出の意図
英の東洋進出の意図は、東洋の資源を確保し、勢力を拡大することにある。...

△日露戦争の経緯
日露戦争は、東洋の覇権をめぐって行われた。日本は、東洋の領土を拡大し、勢力を伸張しようとした。...

獨中なるか、獨逸は防共協定を以て、東歐諸國との親善關係の礎石たらしめんとする意圖なるか如く、波蘭、「ちえつこ」、「ゆーごー」より更に羅馬尼亞防共協定に参加せしめんとする計畫なるか如く、「べつく」も「むにひ」より歸國後、蘇獨衝突の場合波蘭か中立を擁護せんとする問題に付、政府と協議したる者である。而して獨逸は更に民族自決主義を掲げて「うくらいな」問題に向はんとする模様であるか、右獨逸の東方進出計畫の程度及速度は、今日豫見し得ざるも、獨逸外交貿易の不振は、却て東方進出推進の原動力となるへしと見られて居る云々と報した。右に關聯して「ちあの」は近日「ゆーごー」に赴き、又「りつべん」と「つぶ」は「わるそー」を訪問すへしとの記事か屢散見して居る。

五 佛 國

△英國の對日通牒の意義

一月十六日「まるせいゆ、そあーる」及「それいゆ」は、第一面に英國は支那に於て、兵力を以て爲したる變革を承認し難き旨聲明

81